

# 大宮駅周辺地域戦略ビジョン

～おもてなしあふれる東日本の顔を目指して～

2010

大宮駅周辺地域は政令指定都市さいたま市の「顔」であると同時に、東日本における首都圏の玄関口となっています。大宮らしさを活かし、育て、時代の潮流に対応しながら、民と官が共有できる将来の姿とそれに至るための道筋となる戦略をとりまとめたものが「大宮駅周辺地域戦略ビジョン」です。



# 政令指定都市さいたま市の顔にふさわしい都心として再構築します

## 「大宮駅周辺地域戦略ビジョン」とは

○大宮駅周辺地域には商業をはじめとする様々な都市機能が集積するなど、高いポテンシャルを持つ地域であるにも関わらず、慢性的な交通渋滞の発生、基盤整備の遅れや面都大宮をとりまく環境の変化など、様々な問題を抱えた地域でもあります。「大宮駅周辺地域戦略ビジョン」は、大宮駅周辺地域を政令指定都市さいたま市の「顔」にふさわしい地域にしていくことを目的とした新たなまちづくり計画です。

○策定では、民間と行政の協働によって地域が目指すべき「将来像」とその実現に向けた「戦略」を示すとともに、まちづくりを確実に動かしていくために「優先的に取り組むべきプロジェクト」を抽出しました。

○策定にあたり、「三位一体の推進体制」を構築して検討を行ってきました。地元や市民のみならずの意向や考え方を把握するとともに情報共有を図る「意見交換会」を設置し、参加型での検討を進めました。また、学識経験者や地元・行政関係者が大所高所から総合的な検討を行う「策定委員会」と分野別に詳細な検討を行う「分科会」を設置し、行政とともに多様な関係者が一緒に議論を重ね、戦略ビジョンをとりまとめました。

### 意見交換会



地元まちづくり団体や住民、商業者、通学・通業者などが一室に集い、大宮の将来像やそれを実現するために解決すべき課題、課題を解決するための具体的なアイデアについて、テーマ別のグループに分かれて議論し、「まちづくりコンセプト」としてとりまとめらる。

※平成20年度は全体討議、平成21年度は「大宮の未来を考えるワークショップ」としてグループ討議形式で開催

### 大宮駅周辺地域戦略ビジョン



**検討にあたって配慮すべきこと**

- 市の上位計画 (※1) との整合
- 地域の既住計画 (※2) の整理
- 変化し続ける社会 備勢への対応 (※3)

**大宮駅周辺地域の将来像**

長期的な将来目標となるまちの姿を描くもの

将来像

まちづくりの方針

**将来像を実現するための戦略**

将来像を具象化する大膽な考え方を示すもの

まちづくり戦略

交通戦略

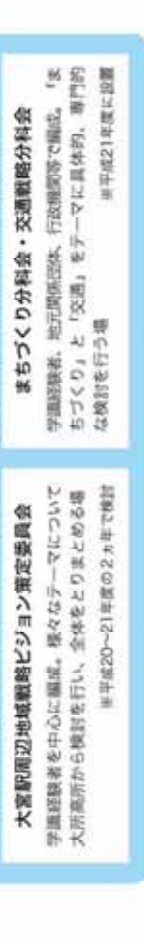
推進戦略

**優先的に取り組むべきプロジェクト**

まちづくりに先導的・波及的な効果をもつ取り組みとなるもの

半環は10～20年程度で取り組む内容を想定

### 委員会・分科会



**大宮駅周辺地域戦略ビジョン策定委員会**

学識経験者を中心して編成。様々なテーマについて大所高所から検討を行い、全体をとりまとめる場

※平成20～21年度の2カ年で検討

**まちづくり分科会**

学識経験者、地元関係団体、行政機関等で構成。「まちづくり」と「交通」をテーマに具体的な、専門的な検討を行う場

※平成21年度に設置

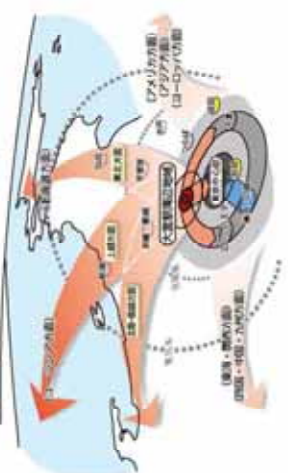
**まちづくり分科会・交通戦略分科会**

学識経験者、地元関係団体、行政機関等で構成。「まちづくり」と「交通」をテーマに具体的な、専門的な検討を行う場

※平成21年度に設置

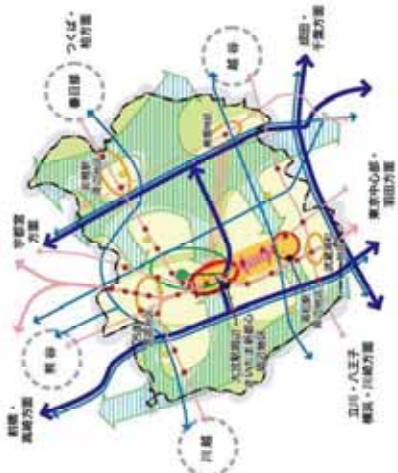
### 広域的な位置づけ

○「東日本の交流拠点都市」として、首都圏と北関東・東日本全体を結ぶ交通の要衝となっています。



### 首都圏・さいたま市における位置づけ

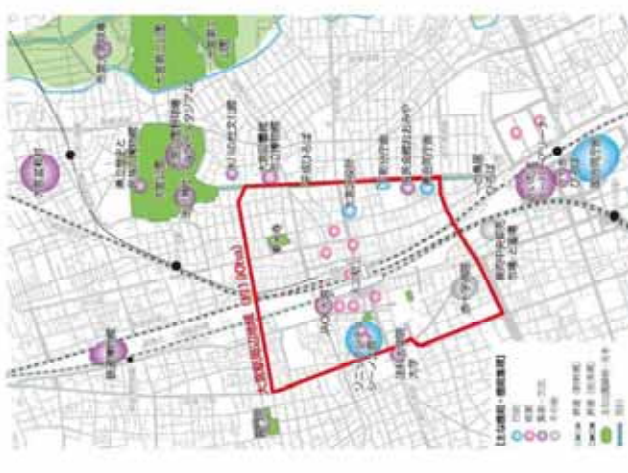
○高次の都市機能が集積しており、首都圏の「業務核都市」としての役割を持つとともに、さいたま新都心周辺地区と一体的な都心として位置づけられています。



### まちづくりの課題

- 大宮の都市規模や交通結節点としてのポテンシャルが活かし切れていません。
- 多様な市民活動を支える「核」としての機能がまちなかに不足しています。
- 「大宮らしさ」を活かした新たな魅力や価値を創出していく必要があります。
- 民間の力がまちづくりの推進にさらに活かされていくことが必要です。

### 検討対象区域と周辺の地域資源



出典：「さいたま新都心計画マスタープラン」に加工

(※1) さいたま市都市計画マスタープランなど。(※2) 大宮駅周辺地区交通計画など(※3) 地球環境や社会環境の変化に対応した持続可能な発展、グローバル社会にふさわしい都心活動に向けられる都心の向上と地域内の地域分業の推進

## 将来像

### 東日本の顔となるまち

東京中心部、北関東・東北地方や上信越地方と連携し、多様な都市活動が展開される東日本の交流拠点都市として、また、さいたま市の「顔」として、市民が誇りに思えるまちをつくりたい。



**おもてなし、あふれるまち**  
大宮らしさを感じさせる様々な場所の個性を活かした「おもてなし」にあふれる地域として、初めて訪れた人も、通勤や通学で毎日通っている人も、住んでいる人も、楽しめるまちをつくりたい。

### 氷川の杜、継ぐまち

豊かな都市生活を守り、育て、継承していく地域として、氷川の杜に象徴される地域資源の活用、環境負荷の低減や高齢化社会への対応、次世代の育成などに取り組むまちをつくりたい。



## まちづくりの方針

- **おもてなし都心ゾーン**
  - ターミナル街区 (駅・駅前ゾーン)
  - おもてなし機能集積ゾーン
  - 駅周辺複合市街地ゾーン
- 大宮駅とその周辺街区が一体となり、交通の要衝、まちの玄関としての機能強化を図ります。
- 既存の商業・業務集積エリアを中心に、多様性のある商業機能や高次業務機能などのおもてなし機能を展開します。
- 地域の周縁部では、都心生活を豊かに享受できる住宅・商業・業務機能が適切に適合する市街地を形成します。

### シンボル都市軸



- 地域の中心を東西につなぐシンボル軸を形成し、都心の多様な活動を支えるとともに、駅からの眺望を確保しつつ、沿道整備を行います。
- 氷川参道沿道では、氷川の歴史・文化を継承するため、沿道環境の保全と適切な空間活用を図ります。

### おもてなし体感空間



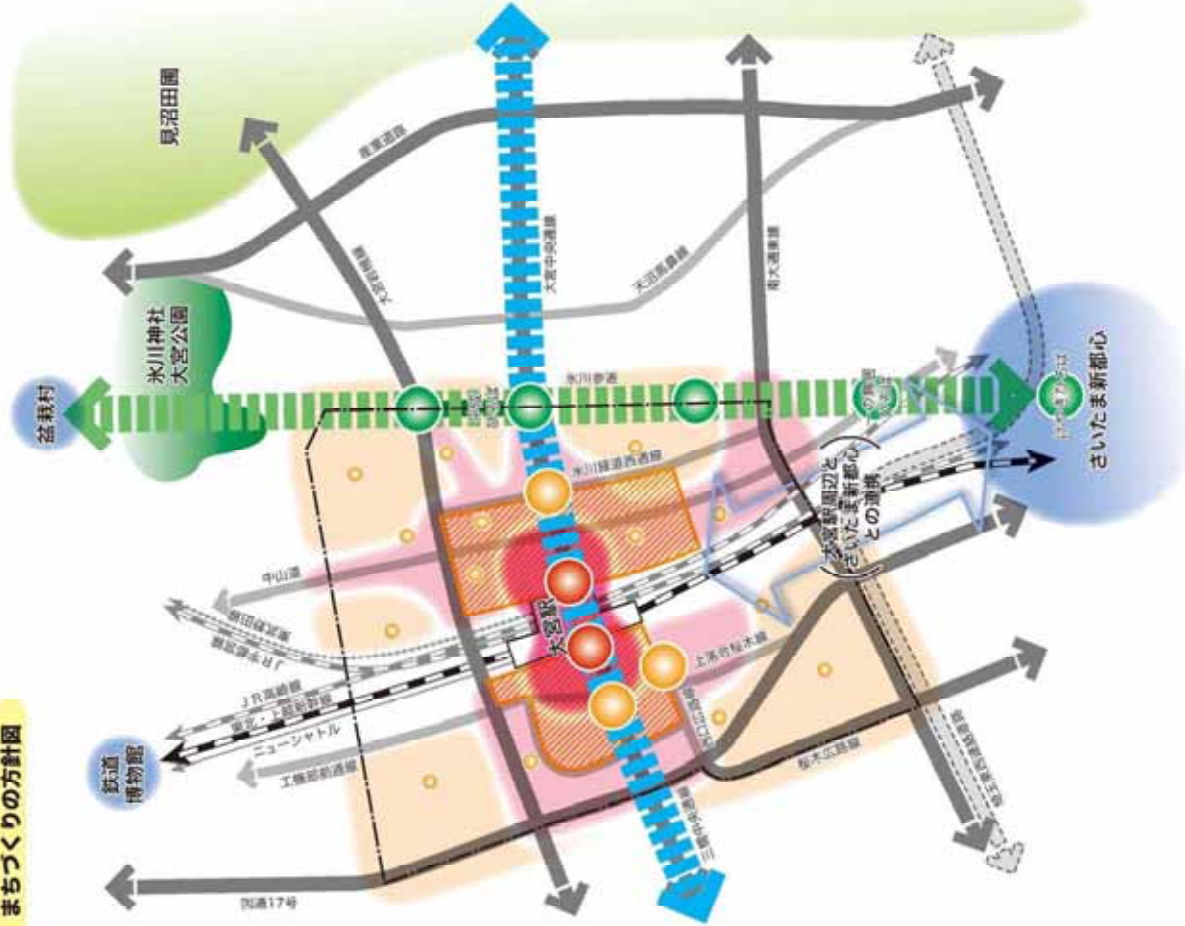
- あらゆる人が街を楽しむながら、快適に、安全に、安心して過ごせる歩行空間を面的に創出します。
- 都心での多様な活動を支える機能や、都市の安全性や職場向上に資する機能などを備えたひろば空間を創出します。

### 都心活動を支える交通基盤



- 通過交通と公共交通を含む地域アクセシビリティの役割分担を図り、おもてなしのまちづくりを支えます。

## まちづくりの方針図



「将来像」を実現するため、「まちづくりの方針」に沿って

まちづくり戦略

交通戦略

推進戦略

を構築し、まちづくりに取り組みます

### ■ まちづくり戦略

#### 機能強化戦略 拠点都市として強化する戦略

- 商業・業務・交流・情報・文化・観光等の都心機能を強化・発展させるとともに、さいたま新都心との活動連携を強化することで、東日本の顔にふさわしい広域的な拠点性を持つまちをつくります。
- 都市基盤や建築物の更新等の課題を持つ市街地を再生することで、様々な機能導入の受け皿となる土地や床を創出するとともに、都市環境としての質の向上や都心地域の防災性の向上を図ります。

#### にぎわい・おもてなし戦略

#### にぎわいのまち大宮を再生する戦略

- 歴史や文化、にぎわいや落ち着き、おしゃやれや楽しさなど、それぞれの場所の個性を活かして地域全体の回遊性を高めることで、国内外の多くの人を大宮のまちの中にひきつけ、商業やビジネス、都市観光や文化・芸術活動の活性化を図ります。

多様な商業空間のイメージ



落ち着きのある公共空間

賑わいがあふれる楽しい商業空間

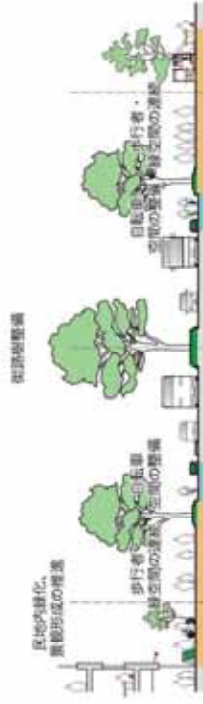
開放的で豊かな商業空間

#### シンボル戦略

#### 大宮を象徴する顔・シンボルをつくる戦略

- 大宮の持つ地域性や“大宮らしさ”を、まちの魅力づくりやにぎわい創出に活かして、まちの顔にふさわしいシンボル空間を創出することで、都市の広域的な拠点性の向上や風格ある景観の形成を図ります。

シンボル都市軸の形成イメージ



緑空間の連続

歩行者・自転車・歩行者・自転車・歩行者・自転車の連続

歩行者・自転車・歩行者・自転車の連続

歩行者・自転車・歩行者・自転車の連続

歩行者・自転車・歩行者・自転車の連続

### ■ 交通戦略

#### 交通基盤戦略 都心活動のモビリティを向上させる戦略

- 広域的な拠点性を持つまちにふさわしい交通体系を形成することで、首都圏や東日本だけでなく、国内や海外とのつながりを強化するための空港や港湾へのアクセス性の向上を図ります。
- さいたま新都心との連携強化を図るとともに、駅東西の連絡の利便性を向上させることで、様々な人やモノが行き交う都心をつくります。

#### おもてなし交通戦略

#### まちのにぎわいを支える交通マネジメント戦略

- 道路や駅前広場、駐輪・駐車場等の交通施設について、情報技術の活用なども含めて対策を講じ、歩行者や自転車、自動車が調和した交通環境を創出することで、すべての人が安全に楽しく自由に歩きを楽しめる人優先の歩行空間を確保し、まちのにぎわい創出の核となる回遊性の向上を図ります。

#### モータルシフト戦略

#### 人と環境にやさしい交通体系へ転換する戦略

- 公共交通機関の利便性や快適性の向上、自転車利用環境の整備、新交通システムの導入など、環境負荷の低い交通手段を積極的に取り入れることで、地球にやさしく、高齢者や外国人を含む多様な人が便利に快適に行き交うことができるまちをつくります。

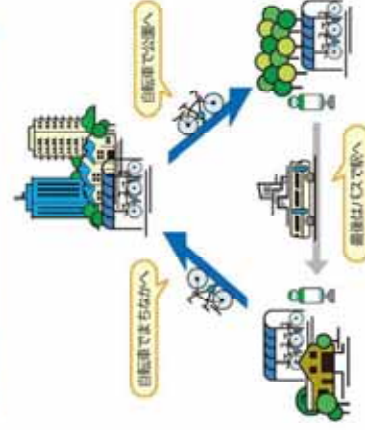
#### 新交通システムの例



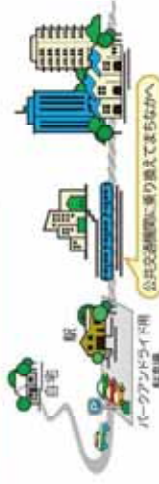
ストラスブール(LRT)

ルーアン(BRT)

#### 都市型コミュニティサイクリングシステムの活用例



#### パークアンドライドの普及促進



パークアンドライド用駐車場

公共交通機関に乗り換えてまちなかへ

自転車でもちなかへ

自転車でもちなかへ

自転車でもちなかへ

### ■ 推進戦略

#### 推進戦略

#### 地域が一体となって戦略ビジョンを具体的に展開する戦略

- 様々な波及効果を持つ取り組みを4つの「優先的に取り組むべきプロジェクト」として推進するとともに、市民と行政と事業者が一緒に、積極的に、大宮らしいまちづくりを進めるためのルールや仕組み、組織をつくり、戦略ビジョンを効果的かつ効率的に、また、確実に実践していきます。

## プロジェクト1 「おもてなし歩行エリア」の形成

人が集まる大宮駅を中心に、道路整備や周辺の市街地整備と連携しながら、歩行者や自転車、公共交通を優先する交通体系へ転換し、誰もが安全に、まち歩きを楽しむための時間消費型のまちの実現を図ります。

### 歩行空間の快通化

- ・面的な交通規制や歩行空間の改善、緑化や景観形成、情報サービスの充実など、ソフトとハードの両面から歩行空間の快通化を図ります。
- ・当面の具体化を目指すエリアや将来的な目標とするエリア等を設定し、段階的な実現を目指します。

### シンボル都市軸の整備

- ・氷川参道の緑との連続化を図るとともに、歩行者や自転車の空間整備を推進します。
- ・まちの顔にふさわしい街道景観の形成や眺望を確保します。

### 東西連絡の強化

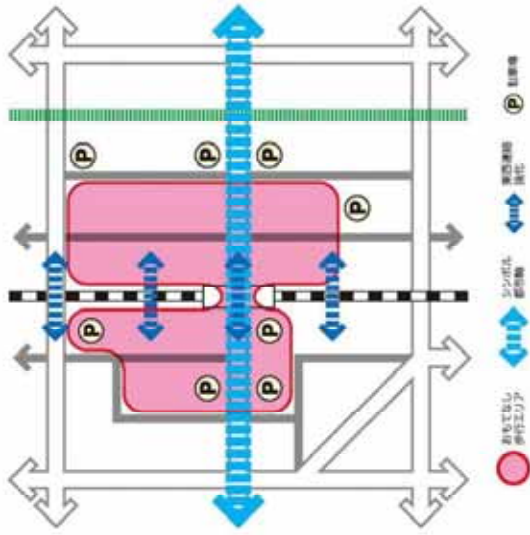
- ・東西連絡路の利便性を改善するなど、東西連絡の強化について検討します。

### 駐車場・荷さばき交通の整備

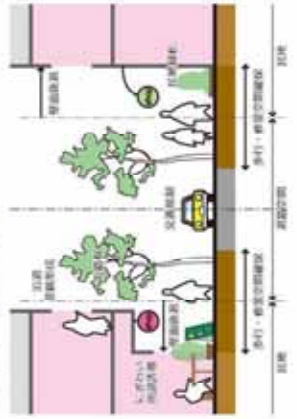
- ・駐車場出入口の改善、集約駐車場の整備、荷さばきに関するシステム構築などにより、道路の出入りに伴う渋滞や歩行者との交差を軽減します。

### 自転車や公共交通の利用環境改善

- ・自転車ネットワークや駐輪場を整備します。
- ・レンタサイクルやパークアンドライド等のサービス、バスなど歩行者の移動をサポートする交通手段を提供します。



### 歩行空間の改善イメージ



### 取り組み方(例)

- ① おもてなし歩行エリアの設定
  - ・エリアの具体化を目指すエリアや将来的な目標とするエリアの設定

- ② エリア形成に向けた意識の醸成
  - ・社会実験や部分的な先行整備などから段階的な歩行者優先化に着手

- ③ 民間連携による取り組み本格化
  - ・民間による沿道空間や区内道路等の整備と、行政による公共空間整備の推進

- ④ 範囲の拡大や内容の充実
  - ・効果や課題をふまえたエリアの拡大や内容充実に向けた検討

取り組みの内容や取り組み方は今後の検討の中で具体化を図ります。

## プロジェクト2 「おもてなしひろば」の創出

まちなかにぎわいや回遊の促進、都市の安全性や環境向上などに寄与する「機能」と、人が集い、憩い、楽しめる「空間」を備えた、大小さまざまな「ひろば」をまちのいたるところに配置することで、まち歩きの魅力を高めていきます。

### 駅前ひろば

- ・広域からの来街者も日常利用も共通して誘われるまちの顔を創出します。
- ・交通結節機能だけでなく、人優先の空間としての整備を進めます。

### まちなかひろば

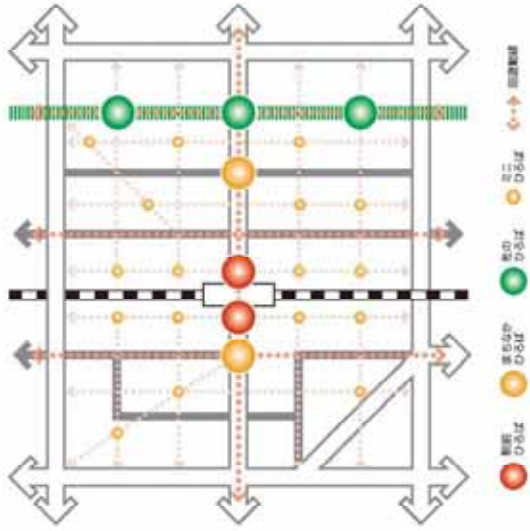
- ・駅前からまちなかに人をひきつける魅力ある空間と機能を持たせることで、駅前の賑わいを拡げます。
- ・東口では、周辺街区の整備とあわせて「ひろば」を創出し、西口では、既存の緑地公園やイベント広場のより一層の活用を図ります。

### 社のひろば

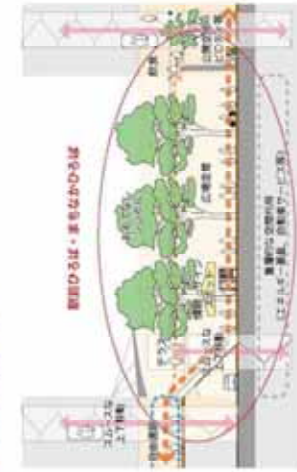
- ・氷川参道の緑を拡げ、参道散策の立ち寄りスポットとして都心全体の回遊性を高めます。
- ・新たなひろばの創出とともに、既存の平成ひろば、一の鳥居ひろばの活用促進を図ります。

### ミニひろば

- ・人々の憩いスポットをまちの各所に生み出し、高密度な市街地の環境を改善します。



### ひろばのイメージ



- 駅前広場と周辺街区の協調による整備
  - ・多様な機能を導入するための適切な区域設定や空間の重層的な活用
  - ・交通結節点としての利便性の向上

- 再開発や市有地の活用による整備
  - ・まちづくりの促進とあわせた賑わい空間や公的機能の導入

- 公共施設の再編による整備
  - ・施設活動との連携や氷川参道の環境向上と調和する空間や機能の導入

- 民間開発における整備の誘導
  - ・建替にあわせて多様な「ひろば」創出の展開に向けた、ルールや支援制度の構築

取り組みの内容や取り組み方は今後の検討の中で具体化を図ります。



# 民間と行政が手を取り合って大宮のまちづくりを進めます

戦略ビジョンは、行政のみならず、地元のみならず、さまざまな事業者において、これからの大宮のまちづくりを進めていく上での方向性を共有するための指針として活用されることが期待されます。

今後は、地元、事業者、行政の3者がともにまちづくりに取り組むための民官協働の新たな推進体制を構築し、大宮のまちづくりを進めていきます。

また、戦略ビジョンに基づいたまちづくりの進捗状況は広くみなさまに公開するとともに、必要に応じて、市民やNPO等との意見交換を行いながら、まちづくりを進めていきます。



## 戦略ビジョンを推進していくために

戦略ビジョンで示された考え方を受けて、優先的に取り組むべきプロジェクト（優先プロジェクト）を推進していくため、「地区別の整備計画」や「ガイドライン」の策定など、戦略ビジョンに基づくまちづくりを具体化・詳細化する段階に入ります。

その後、計画に基づき施策等を実施・評価し、戦略ビジョンの進捗状況や社会情勢等もふまえ、必要に応じて、計画の見直し・改善を行いながらまちづくりを継続的に進めていきます。



ホームページでは「大宮駅周辺地域戦略ビジョン」をご覧になることができます。  
さいたま市のホームページから、以下に従ってお進みください。

さいたま市ホームページ <http://www.city.saitama.jp>

【閲覧手順】 トップページ ▶ 暮らしのガイド ▶ まちづくり・交通 ▶ 大宮駅周辺のまちづくり ▶ 大宮駅周辺地域戦略ビジョン

【大宮駅周辺地域戦略ビジョン】発行：平成22年5月

さいたま市 都市局 都心整備部 大宮駅東口まちづくり事務所 TEL：048-646-3289/3290 FAX：048-646-3292  
E-mail：omiya-higashi-machidukuri@city.saitama.lg.jp

このパンフレットは5,000部作成し、1部当たりの印刷経費は42円です。

